

令和元年6月定例会会議録（第3号）

令和元年6月14日 金曜日 午前10時00分開議

平 進 介 議 長 内 谷 邦 彦 副議長

出席議員（16名）

1番	鈴木	一則	議員	2番	勝見	英一朗	議員
3番	渡部	正之	議員	4番	鈴木	裕	議員
5番	竹田	陽一	議員	6番	金子	豊美	議員
7番	浅野	敏明	議員	8番	内谷	邦彦	議員
9番	渡部	秀樹	議員	10番	鈴木	富美子	議員
11番	赤間	恭広	議員	12番	梅津	善之	議員
13番	小関	秀一	議員	14番	今泉	春江	議員
15番	蒲生	光男	議員	16番	平	進介	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内谷重治	市長	遠藤健司	副市長
齋藤環樹	統括監	竹田利弘	総務参事 兼地方創生参事兼総合政策課長
小関浩幸	厚生参事	中田浩之	会計管理者兼税務課長兼会計課長
近藤智規	総務課長	鈴木嗣郎	財政課長
渡部和裕	公共施設整備課長	新野弘明	地域づくり推進課長
金子剛	市民課長	小林克人	健康課長
梅津義徳	福祉あんしん課長	加藤潤子	子育て推進課長
堀越俊一郎	代表監査委員	平田裕	教育長
鈴木國男	選挙管理委員会委員長	寒河江忠	農業委員会会長
藁谷尊	産業戦略監兼産業参事	青木邦博	建設参事兼公共事業推進調整参事
桐生芳弘	教育参事	横山照康	産業振興参事兼産業活力推進課長
沼澤孝典	農林課長併農業委員会事務局長	赤間茂樹	商工観光課長
佐原勝博	建設課長	蒲生浩美	上下水道課長
井上浩	教育総務課長	竹田洋	学校教育課長
佐々木勝彦	文化生涯学習課長	金田文明	生涯スポーツ課長

菅 秀 一 学校給食共同調理場長
五十嵐 和 彦 消 防 主 幹

梅 津 浩 一 選挙管理委員会事務局長
併 監 査 委 員 事 務 局 長

事務局職員出席者

松 木 満 議 会 事 務 局 長
飯 澤 光 梨 議 事 調 査 係 長
安 達 洋 司 技 士 長

山 口 和 則 議 事 主 幹 兼 議 会 事 務 局 補 佐 兼 庶 務 係 長
鈴 木 真 喜 主 任

議 事 日 程 (第 3 号)

令和元年6月14日 金曜日 午前10時00分開議

日程第1 市政一般に関する質問

9 番 渡 部 秀 樹 議 員
4 番 鈴 木 裕 議 員
5 番 竹 田 陽 一 議 員
1 4 番 今 泉 春 江 議 員
1 番 鈴 木 一 則 議 員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

開 議

○平 進介議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○平 進介議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

渡部秀樹議員の質問

○平 進介議長 順位6番、議席番号9番、渡部秀樹議員。

(9番渡部秀樹議員登壇)

○9番 渡部秀樹議員 おはようございます。緑風会の渡部です。よろしくお願いいたします。

3月議会の一般質問の折にお約束したとおり、多くの市民の皆様のご支持をいただき、2期目、当選させていただきました。2期目を迎えるに当たり、未来の長井市のためにと、多くの市民の方々にさまざまな思いと願いを託していただきました。市民の皆様の負託に応えるために、粉骨砕身を座右の銘に掲げ、精進し、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、通告に従い質問させていただきます。質問は、大きく2項目あります。順次質問させていただきますので、それぞれご答弁いただきますよう、よろしくお願いいたします。

1項目めは、子育て世帯への支援と教育行政の現状についてであります。

少子化が社会問題となっている中で、子供が健やかに育つ環境づくりを目指す長井市が行っている子育て世帯への支援事業と教育行政の現状についてお聞きいたします。

1点目は、子育て世帯への負担軽減について、市長にお聞きいたします。

平成30年3月議会並びに平成31年3月定例会でも同様の質問をさせていただきましたが、少子化による人口減少を少しでも抑制するためには、行政による手厚い少子化対策、出産から子育て終了時までの一貫した子育て支援による子育てへの不安解消が必要であるとの視点から質問させていただきます。

先日、この秋に3歳になる私の第5子の集団歯科健診を受診させていただきました。その際に、同じく診察の順番を待つお母様方からさまざまなお話を聞かせていただきました。その中で多くのお母様方が要望していたのが、粉ミルクや紙おむつなどの使用頻度の高い月齢を超え、安定期に入るまで支援してほしいということでありました。

全国的な子育て支援を目標とした紙おむつや粉ミルクなどの支援事業を確認したところ、全国の各地方自治体でさまざまな形で支援がなされているようであります。一例を申し上げますと、神奈川県綾瀬市、子育て支援紙おむつ等支援事業、第2子以降の1歳未満児を養育している世帯が対象と、月額3,500円を限度とし、紙おむつ、布おむつ、お尻拭き類を注文し、直接委託業者から配達される。埼玉県飯能市、0歳児おむつ赤ちゃん無償化事業、ゼロ歳児のお子様がいる世帯の保護者が対象と、紙おむつ、布